

紫外可視分光光度計

株式会社島津製作所製

設置場所： バイオナノテクノロジーセンター（片柳研究所棟 6階）



有機・無機化合物分析や、DNA、酵素などの生化学試料、光学材料の特性測定など様々な紫外可視分光分析に利用できます。

装置の特長

DNA/RNA/蛋白定量法を標準サポート

測定モード：スペクトル、カインेटィクス（時間送り測定）、フォトメトリック（定量）
マルチタスク（測定とデータ処理や他の処理の同時処理）

測定画面のユーザーレイアウト機能（波長、文字サイズ、フォント、色の変更、桁設定）

リアルタイム濃度表示

生体超微量試料の測定、水質測定、衣料分析、積分濁度測定、光源スペクトル分布測定

主な仕様

測定波長範囲：190～900nm

スペクトルバンド幅：0.1/0.2/0.5/1/2/5nmの6段切り換え

レスポンス：バンド幅に応じて最適応答速度自動設定、最小値0.1秒

測光方式：ダブルビーム測光方式（ダイレクトレシオ方式）

測光モード：吸光度（ABS）、透過率（%）、反射率（%）、エネルギー（E）

測光レンジ：吸光度（-4～5Abs）、透過率,反射率（0～999.9%）